

八王子地域には、25の大学・短大・高専があり、約11万人の学生が学んでいる、全国でも有数の学園都市です。



### ①工学院大学

tel. 042-622-9291 (代)  
〒192-0015 八王子市中野町2665-1  
JR八王子駅より京王線「八王子」駅より西東京バス「工学院大学」下車。

### ②明星大学

tel. 042-591-5111 (代)  
〒191-8097 八王子市中野町2-1  
モノレール「中央大学・明星大学」駅徒歩1分。京王線「めじろ台」駅から徒歩20分。

### ③東京工業高等専門学校

tel. 042-668-5111 (代)  
〒191-8096 日野市程久保2-1  
モノレール「中央大学・明星大学」駅徒歩1分。京王線「めじろ台」駅から徒歩20分。

### ④帝京大学

tel. 0120-508-739  
〒192-0395 八王子市大塚359  
京王線「狹間」駅から徒歩5分。京王線「めじろ台」駅から徒歩15分。JR高尾線「駒込」駅から徒歩20分。

### ⑤帝京大学短期大学

tel. 0120-508-739  
〒192-0395 八王子市大塚359  
京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅または「高幡不動」駅、京王・小田急「多摩センター」駅より京王バス「帝京大学構内行」バス下車。

### ⑥東京造形大学

tel. 042-637-8111  
〒192-0992 八王子市宇津賀町1556  
JR横浜線「相原」駅よりスクールバス(無料)で約5分。または徒歩15分。

### ⑦東京純心大学

tel. 042-637-0326  
〒192-0011 八王子市浦賀町2-600

JR八王子駅から西東京バスで「創価大正駅」バス停にて20分。

### ⑧杏林大学

tel. 0422-47-8000  
〒181-8612 三鷹市下連雀5-4-1

JR八王子駅から西東京バスで「杏林大学」バス停にて20分。

### ⑨多摩美術大学

tel. 042-676-8611 (代)  
〒192-0394 八王子市大塚2-1723

JR八王子駅北口より「神奈川中央交通バス」「多摩美術大学行」バスで8分。JR八王子駅南口より京王バスで20分。

### ⑩創価大学

tel. 042-691-2215  
〒192-8577 八王子市丹波町1-236

JR八王子駅から西東京バスで「創価大学循環」各バス停にて20分。

### ⑪創価女子短期大学

tel. 042-691-2201  
〒192-8577 八王子市丹波町1-236

JR八王子駅から西東京バスで「創価大正駅」バス停にて20分。

### ⑫東京薬科大学

tel. 042-676-5111 (代)  
〒192-0392 八王子市堀川町1432-1

JR中央線「豊田」駅→スクールバス約8分。

### ⑬拓殖大学

tel. 042-665-1443  
(ハガキ郵便用印) 〒193-0985 八王子市館町815-1

京王相模原線「平塚」駅→スクールバス約8分。

### ⑭中央大学

tel. 042-674-2269  
〒192-0393 八王子市東中町742-1

多摩モノリル「中央大学・明星大学」駅徒歩0分。

### ⑮日本文化大学

tel. 042-636-5211  
〒192-0986 八王子市片倉977

JR横浜線「片倉」駅下車、徒歩10分。

### ⑯法政大学

tel. 042-783-2091  
〒194-0298 町田市相原町4342

京王相模原線「めじろ台」駅、JR中央線「八王子」駅、JR横浜線「相模原」駅、京王線「橋本」駅からバス「法政大学」行。

### ⑰東京工科大学

tel. 042-637-2111 (代)  
〒192-0982 八王子市片倉1404-1

京王相模原線「八王子」駅からスクールバス約10分。またはJR横浜線「八王子」駅徒歩5分。

### ⑱東京都立大学

tel. 042-677-1111  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1

京王相模原線「南大沢」駅、徒歩5分。

### ⑲山野美容芸術短期大学

tel. 042-677-0111  
〒192-0396 八王子市みなみ野1号

京王相模原線「みなみ野」駅下車。

### ⑳ヤマザキ動物看護大学

tel. 042-653-0901  
〒192-0364 八王子市南大沢4-7-2

南大沢キャンパス：京王相模原線「南大沢」駅徒歩10分。

### ㉑東京家政学院大学

tel. 042-782-9811 (代)  
〒194-0292 町田市相原町2600

JR横浜線「相原」駅下車、バス約9分。京王高尾線「めじろ台」駅下車、バス約13分。

### ㉒サレジオ高専

tel. 042-775-3020  
〒194-0215 町田市小山ヶ丘4-6-8

京王相模原線「多摩」駅下車徒歩約10分。JR・京王線「相模原」駅北口より神奈中バス「橋76」バス停利用約5分。

### ㉓デジタルハリウッド大学

tel. 042-670-2340  
〒194-0354 町田市市谷1番地

多摩モノレール「市谷」駅徒歩約1分。

### ㉔桜美林大学

tel. 042-797-1583 (イカーメージセンター)  
〒194-0294 町田市常盤町3758

JR横浜線「八王子」駅からスクールバス約8分。

### ㉕多摩大学

tel. 042-337-1111 (代)  
〒206-0022 多摩市聖ヶ丘4-1-1

京王線「小田急線・多摩モノレール線」「多摩センター」駅からスクールバスで約20分。

## 大学コンソーシアム八王子

The Consortium of Universities in Hachioji

「大学コンソーシアム八王子」は、大学等が数多く点在する八王子の地域特性を活かし、大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、大学等の高等教育機関・学生・市民の皆さんにとって魅力ある学園都市をめざして、2009(平成21)年4月に設立されました。産学公による共同研究、生涯学習の推進、情報の発信、大学等間の単位互換、学生と市民との交流、外国人留学生の支援などの事業に取り組むことにより、高等教育の充実、地域社会の発展並びに地域の国際化の推進等を図っています。

加盟団体 八王子市／八王子商工会議所／八王子市学園都市推進会議／八王子学生委員会／  
(公財)大学セミナーハウス／(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財团

発行／大学コンソーシアム八王子

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1  
八王子スクエアビル11F(八王子市学園都市センター内)

TEL. 042-646-5740 FAX. 042-646-2663

<https://www.gakuen-hachioji.jp/>



大学コンソーシアム  
八王子に加盟する  
**25**  
大学等

# 学園都市 「八王子」で 学ぼう

八王子の大学を選ぶための  
【キャンパスガイド】

志望校はどうやって決める?

地域を「学生の学び」に活用する大学の先生に  
おはなしを伺いました。



八王子の  
大学って  
面白い!!



## 水元 昇

Noboru Mizumoto

創価女子短期大学

学長／国際ビジネス学科 教授  
専門分野：経営学

多忙な学長職にありながら毎朝、学び舎の前で登校してくる学生たちに挨拶を欠かさない。  
美しいキャンパスの中でも、マリー・キュリー像などの銅像がお気に入りで、「特に春はいいですね」という。  
たまの休日は奥様とカフェめぐり。「いや、連れていかれるって言ったほうがいいかな」。

# ゼミと街と発表会、すべてが学びの現場です。

大学コンソーシアム八王子の学生発表会で、10年にわたって参加し、いくつもの入賞を果たしてきた水元ゼミの学生たち。そこではどんな学びが実践されているのでしょうか。

## 活動テーマは、α+ビジネス

「食+ビジネス」、「ファッション+ビジネス」、「旅行+ビジネス」。なんだか楽しそうでしょう。これは私のゼミで学生たちが取り組んでいるビジネスプランの一例です。身近なところから自由に発想し、そこにビジネスの手法を結びつけ、女子大ならではの感性を活かした企画提案型のプランを立てています。今年は総勢22人という大所帯のゼミですが、4、5人ずつのチームを結成します。それぞれが興味のあるテーマを作り、フィールドワーク、そして発表まで年間かけての活動をしています。

## 八王子のみなさんと共に

今、ビジネスの世界ではコ・クリエーション(Co-Creation)“共創”が大事だといわれます。これは、一人ひとりの力を結集し、さらにはチームや企業の内外の関係者と対話や支援を重ねながら、新しい価値を創造していくことです。だからゼミの各チームも、どんどん八王子の企業や店舗に足を運び、フィールドワーク、つまり現地での調査や研究を行います。そして現場のみなさんのいろいろなアドバイスをいただく。そうすることで、大学での学びとリアルな社会とがつながります。

## 「やめたほうがいい」と直言することも

テーマを決める際には、学生自身が情熱を傾けられるかどうかがすごく大事です。でも時には私も口だしすることがあります。不登校をテーマに掲げたチームがあったのですが、いろいろな人の苦しみに接することになるし、専門家だってこれはという解決策を見つけるのは簡単じゃない。私は反対したのですが、「どうしてもやりたい」と。そこで、知り合いの校長先生に学生たちを紹介しヒアリングさせました。校長先生には「遠慮なく現実の厳し



ゼミではそれぞれのチームが興味のあるテーマに取り組み、自由な発想とアイデアで様々な企画を提案しています。



学生発表会での発表からスタートした、八王子ショウガを使った商品開発事業(バスボム)では香りの抽出に苦労したものの、モニター販売で購入者から高い評価をいただきました。商品名は「八王子ショウガ美人」。

さを教えてくださいって念を押しておきました。けれども、学生たちは一層やる気を出して、ある全国大会で優勝してしまったのです。私の予想以上に、彼女たちは成長していたのですね。

## コンソの発表をゼミ活動の節目に

研究成果を発表する場はすごく大事です。少なくとも年に2つは、発表の場を自分たちで探し、プレゼンテーションしようと指導しています。中でも大学コンソーシアム八王子(コンソ)の学生発表会では、足かけ10年以上いろいろな分野の皆さんを前に発表を続けてきました。2018年はその積み重ねが開花し、この短大だけでも4ゼミ、12チームが出場し、そのうち8チームが受賞されました。

「2年間で4年制大学以上の実力を」というのが、開学からの挑戦目標です。コンソはこの目標に近づくための、すばらしい機会になっているなあと実感しています。

## △ 学生のコメント

### 水元先生ってどんな先生?



久保芽以さん  
【ゼミ長／国際ビジネス学科2年】

【厳しいだけじゃない】

最初はやさしそうな先生だなって思ったんですが、想定外に厳しくて。でも、22人もいるゼミ生一人ひとりをちゃんと見ていてくださいます。



宮高萌碧さん  
【国際ビジネス学科2年】

【先生そこまで言ふんですか!】

授業だけでなく、LINEでもやりとりするのですが、「先生、そこまで言ふんですか」とか、けっこう本音で話せているかな。



餘戸春乃さん  
【国際ビジネス学科2年】

【大泣きしちゃいました】

去年、学生発表会で入賞できなくて落ち込んでいたんですけど、「その悔しさをバネに今年がんばればいいんだよ」と励ましてもらったら、大泣きてしまいました。



## △ 現役高校生の質問 /

**Q** ゼミは、どんな雰囲気で進めているのですか。  
藤井咲綺さん【富士森高校 3年】(左)  
山下絢子さん【富士森高校 2年】(右)

**A** 先輩たちからは「一人ひとりが自分の考えを持って、議論し合えるよう、温かさと緊張感のある雰囲気です」「とてもアットホームです」などが上がっています。ゼミは学生の皆さんのが主役です。楽しく、和気あいあいとした中に皆さんの英知と笑顔が輝くゼミを目指しています。

## 三澤 朱実

Akemi Misawa

東京家政学院大学

現代生活学部 食物学科 教授 博士(生活科学)  
専門分野：栄養指導・教育、公衆栄養学

スタート2年目の食育研究会。集まってくれた学生たちの熱心さに心打たれ、励まされたという。  
そんな想いに応えるため、休日もほぼパソコンに向かい、指導法や研究にあけくれる日々。  
「彼女たちが卒業するとき、泣くのは私かも」。



大学コンソーシアム八王子の事業に参加し、半年間の検討を重ね完成した「八王子うMICE弁当」。試食・評価を兼ねた学内発表会も行いました。

# 食育というより、むしろ学ばせていただいてます。

初挑戦のコンソ2019年度学生企画事業補助金自由部門と指定課題部門に、食というユニークな切り口で見事にダブル採択を勝ち取った食育研究会のみなさん。その三澤先生のリードぶりについて一問一答してみました。

えっ、ゼミじゃない?ってことは…

そうなんです。単位認定には関係がありません。みんなごめんね(と、集まっていた10名の学生に)。この食育研究会は、1年生と2年生だけの有志連合なんです。この4月からはゼミになりました。

その原動力はなんでしょうか?

私の専門は栄養指導論や公衆栄養学といった分野で、栄養士の免許を取りたい学生の必須専門科目ですが、本学を卒業する学生たちが「実践を学べている人たちだね」と言われるようになってほしいと、ずっと思っていました。でも、教科書の内容、イコール実践ではない。やはり社会に貢献することを通じて培われるものじゃないかな、と。そこで恐々、食育研究会を立ち上げてみたんです。誰も来ないんじゃないかなと思っていたら、あまりにもたくさん集まってくれて、びっくりしました。

「食生活を見直そう」というテーマはどうやって決めた?

学生たちが決めました。ただ、研究を前面に出してしまうと、皆さんにわかつもらえないだろう。だから、地域に貢献できることをやろうよ!というアドバイスはしました。

コンソの活動を通じて学生は何を学んでいるのでしょうか?

お弁当の開発やアンケートを実施する中で、いろいろなアイデアもいただけるし、気づきもありますね。地域住民の方々に食育しているというより、学ばせていただいていると感じます。まだ、みんな成長段階なんです。

そういう意味では1、2年生のうちがチャンスだと?

はい。3年生になると専門教科が増えるし、4年生は卒論を書きますから。とは言え、卒論も自分の経験してきたことのほうが書きやすいんじゃない



エネルギー・栄養素の栄養価計算、八王子産の江戸東京野菜の活用や減塩のための調理方法など、半年間の検討を重ね完成した「八王子うMICE弁当」

かなあ。食育研究会の活動が卒論テーマの一つの選択肢になるという期待もありますね。

じゃ活動できる今をうまく利用している?

そうです。栄養指導といった分野は、必ずしも数学的な答えがあるわけではありません。食育研究会で人々と接する経験が、私が担当する分野の学問を理解する助けになっていると実感しています。

食育研究会って先生と学生が対等な感じですね?

はい。単位認定とかゼミ指導とかの間柄ではない、有志の集まりですので。私が伝え忘れたことなんかも、どんどん学生が先回りして行動してくれます。

それはいい学びですね?

ええ、そのうち自分たちだけで企画事業に応募し、「先生、こういうのが採択されました!」なんて言ってくるようになったら、うれしいですね。

## △ 学生のコメント

### 食育研究会で活動してみて

部長の上田さんをはじめ、メンバーのみなさん聞いてみました。



上田菜都子さん  
【部長／食物学科2年】

## △ 先生、美味しいなかつたです

おべんとうのメニューの相談も三澤先生は気軽に答えてくれます。たまに「ニンジンに卵を巻いたらどうかしら」なんて大胆なアイデアもいただけます。自分から声をかけるのが苦手だったのですが、アンケートの実施などを通じてコミュニケーションを図ることが楽しいと感じられる雰囲気が楽しいですね。

△ 苦手だった声掛けを克服

△ みんなでわーっと役割を決めます

今、コンソの自由部門と指定部門と大きく二つプロジェクトが動いています。分析班、調理班、パッケージ班、食育ツール開発、それから会計まで、みんなでわーっと集まって決めています。

## △ 現役高校生の質問 /

**Q** どうやって自分の進みたい道を見つけましたか。  
鈴木英美さん【富士森高校 3年】(左)  
藤野隼一さん【富士森高校 2年】(右)

**A** 自分を含め家族がアレルギー体質であり健康にならなかったことから、家族が健康にならるとの思いで食の専門家である管理栄養士になりました。その後、食の面からもっと多くの方々にも健康になって頂きたいとの思いを強くもち、栄養の指導分野の実践、研究に進みました。





## 梅澤佳子

Yoshiko Umezawa

多摩大学

経営情報学部 経営情報学科 教授

専門分野：社会学（レジャー＝生涯学習、地域コミュニティ、スポーツ）

「高校生まで学校の勉強は苦手でした。でも大学の学びは全く違いました。皆さん、もう一息がんばって！」と  
高校生にエールを送る梅澤先生。

オペラ、歌舞伎、パレエなど舞台芸術鑑賞が趣味。スポーツも大好き。夏には家族との登山が恒例行事に。

# その町で暮らす人びとの 目線に立ったビジネス感覚を。

なぜ経営情報学部のゼミ生たちが八王子駅前サロン活動を？  
そこには生活者に対する深いまなざしと、経営学の基本とが融合した独自のアプローチがありました。

## 生活が見えない提案に違和感

学生時代は体育学部でレジャー社会学を専攻していました。大学院では人々を健康に幸せにする余暇のあり方・プログラム開発、地域社会学に視野が広がりました。学生たちは生活文化を楽しむ能力（享受能力）を育むこと、そのための環境やサービスのあり方に焦点を当てて講義を行っています。多摩大学は国際性、学際性、実践性を基本理念に1年はプレゼン、2年からは3年間ホームゼミで学びます。また多摩地域について学び、課題解決に取り組む活動を大切にしています。学内外の学生たちの事業提案を聞いていて、人々の生活が見えていないなあと思うことがあります。

## わらしへ長者になろう

そこでゼミではさまざまな地域の方々と継続的な活動を行ってきました。梅澤ゼミの活動は地味です。あるとき「先生、ぼくらの活動って自己満足じゃなくって意味があるのだろうか？」と投げかけられました。そこで外部のコンペで報告してみたらと提案したのです。コンペでは最優秀賞と奨励賞を受賞し学生たちは自分たちの活動に自信を持てたようです。コンペがきっかけとなり、八王子市からお声をかけていただき高齢者サロンの活動が始まりました。学生たちは「わらしへ長者」の昔話をします。問題意識を持って活動していると次なる出会いがあり、新たな課題とその課題解決のための活動に繋がります。そこでまた一緒に活動して下さる方が現れる…その連続です。



八王子駅前サロンでは、多世代交流の中で多くのことを学びます。



活動報告書等は  
年度別にひとつの冊子にまとめ  
られます。

## 高齢者サロンの活動は経営学そのもの

「駅前サロン」は八王子の高齢者に楽しんでいただくのが目的ですので、参加者を理解する努力が必要です。事前準備では企画を決定したらパワーポイントを作成し連携団体の皆様にご確認いただきます。その後ゼミ内で当日の役割を決め運営の準備を進めます。サロン終了後は反省会があり報告書を作成します。翌週のゼミで情報を共有し次回のサロンに繋げます。この一連の活動は実社会では当たり前のプロセスです。自ら企画し実践したことを振り返り文章にまとめ仲間に伝え議論する。足りない知識を他の講義から学ぼうとする意欲がわき、学生たちは大きく成長します。地域の人々の生活に寄り添いながら、共感する力や課題を解決する力を身につけていってほしいと願っています。

### ◆八王子駅前サロンとは

八王子市地域包括支援センター旭町で月に1回、民生委員やボランティアの方々と連携して行う、高齢者を対象としたサロン。高齢者の方々が、自然体でゆったり過ごせ、学生・民生委員・ボランティアと多世代の方が、和やかに会話を楽しめます。ちょっとしたクイズや合唱、体操もあり、回数を重ねることで利用者も増え、「毎回楽しみにしている」「友だちが増えた」といった声も聞かれます。



## 学生のコメント

### サロン活動に取り組んでみて



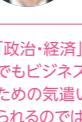
【大学での学びを自分の経験に】

大学の外に出てみると様々な発見があります。地域はどのような人達で構成されているのか。少子高齢化社会にどのように向き合っているのか。社会ではどのようなことが問題になっているのか。講義で学んだ内容を肌で感じて自分の経験として学ぶことができました。



【時間厳守＆ドタキャン皆無】

梅澤ゼミでできひいして聞いてたんですけど、そのほうが成長できそうだと思い、あえて選びました。入ってみて、少なくとも外部の方々との約束の時間や期日はしっかり守れるようになりました。



A 「政治・経済」かな。特別活動（生徒会活動、体育祭、文化祭）などでもビジネス感覚をつかむことができると思います。顧客創造のための気遣いや庶務を学ぶことは高校生活でも十分に身につけるのです。

# 町歩きの向こうにある ギュン伸び体験。

## 小笠原永隆

Nagatake Ogasawara

帝京大学

経済学部 観光経営学科 准教授

専門分野：観光資源開発論、博物館学、日本考古学、産業考古学

「八王子って江戸っ子気質が残っています。だからみなさん、知らないものに対して警戒心をいだかないんですよ。週末はもっぱら有志の学生を連れて、歴史的魅力が集積するこの町を巡っているそうです。」



小笠原ゼミでは、2018年の「学生企画事業補助金」（コンソが活動費用の一部を負担する制度）の指定課題部門に参加。「絹織物ツアーや基本として、産業遺産（レンガ関係）や史跡（中世城郭）など、基本からマニアックなものまで様々なツアーや用意して、多様なMICE来訪者に対応する企画を提案しました。



といったこと。

たとえば、全体のコーディネートはこのゼミで担当するから、昼食メニューは東京家政学院大学さんの「うMICE弁当」、デザートには創価大学の丸田ゼミの「チョコブラウニー」にしようとか。演出の部分では東京造形大学のプロジェクトマッチングを取り入れるなど。そうやって組み合わせていけば、すばらしい観光コンテンツができる。これも大学がたくさんある八王子ならではのメリットですね。

### ◆MICE（マイス）とは

Meeting（企業等の会議・研修・セミナー）

Incentive tour / Incentive Travel（企業等の行う報奨・招待旅行）

Conference / Convention（国際機関・団体、学会等が行う大会・学会・国際会議）

Exhibition / Event（展示会・見本市・イベント）

これらの頭文字をとった造語で、多くの集客交流が見込まれるビジネスモデルの総称です。八王子市ではMICE戦略のコンセプトである「グローバルMICE都市・八王子」の実現に向けて、公益社団法人八王子観光コンベンション協会が中心となり、魅力ある観光事業と交流人口の創出に資するMICEの振興を図っています。

絹織物の歴史をはじめとする八王子のレガシーを未来の観光資源に。そんな研究と提案を活発に行う小笠原ゼミ。コンソでの活動で目の当たりにしたのは、学生たちの成長。そして、小笠原先生の大いなる野望も走り始めたのです。

## ゴール直前でフル回転できるわけ

このゼミは1年間しかありませんが、とにかく4月に入ってきたときは、「だいじょうぶかなあ」と思える学生ばかり。八王子のことも詳しくありません。でも、食わず嫌いを直してやろうと、町をひっぱり回すんです。不思議なもので、一度でも現地へ足を運ぶと、みんな興味がわいてきます。

驚いたのは、2月のコンソ事業報告会の発表直前に、学生たちがギュン伸びたこと。その秘密を私なりに分析するなら、やっぱり普段の蓄積のおかげでしょう。遊び半分でもいいから八王子の町中に繰り出して、お土産品の取材をしたり、グループワークをしたり。そうした記憶が最後のまとめの段階で「ああ、あんなこともあったよね」となる。だから、へこたれないで現地を見せ、考えさせることにしてるんです。みんな3月には、見違えるようになって卒業していきますよ。

## さりげなくライバル心をけしかける

コンソの活動では、なるべく他大学とのミーティングに学生たちを同行させています。たとえば、理系の学生たちと接すると、彼らの論理的な発想に舌を巻いていました。ちょっとしたライバル心をくすぐるのもラストスパートの原動力になります。

## 八王子の学生パワーを結集

私自身もコンソの活動がすごく刺激になっています。今温めているアイデアは、参加した各大学の提案を取り入れてMICEのモニター企画を立てる



仲間でアイデアを出し合い、企画を考え中。先生のアドバイスを参考に学生が作り上げています。

## 学生のコメント

### 学生から高校生にひと言

小笠原ゼミの魅力を

学生の皆さんに聞いてみました。

長澤綾音さん  
【経営学部3年】

【町の活性化っておもしろい】

私はこのゼミの広報担当です。町づくりや活性化のアイデアを自由に出し合ながら、企画をまとめていくところがこのゼミの面白さです。

【経済学部3年男子】

【地域から経済を学ぶ】

ぼくは経済学部なんですけど、先生が研究している観光経営の視点から地域経済について調べてみたいと思いました。

興味のある人は、ぜひ。

【経済学部3年女子】

【商店街という身近なものをテーマに】

私は公務員志望なので、地域特化型の商店街開発をシミュレーションしたくて、このゼミに入りました。「八王子の物語を創る」という発想がとても刺激的です。

現役高校生の質問

Q

大学では、学外で行う授業はたくさんありますか。

白石葵さん【富士森高校 2年】

A

実習はもちろんのこと、通常の授業でも学外で行う機会を設ける場合が多くあります。すべての授業で、というわけにはいきませんが、観光の場合、基本はやはり現場です。授業外の学修としても積極的に現地を見ることを勧めています。

## ある日の小笠原ゼミ

2019年秋、新校舎の一角では2月のコンソ事業報告会に向けゼミの仲間がグループごとに企画作りの真っ最中。

「八王子のお米で仕込んだ地酒と、そのお米からできニョコブラウニーを出そつ」といって会話が飛び交います。

現役高校生の質問

Q

大学では、学外で行う授業はたくさんありますか。

白石葵さん【富士森高校 2年】

A

実習はもちろんのこと、通常の授業でも学外で行う機会を設ける場合が多くあります。すべての授業で、というわけにはいきませんが、観光の場合、基本はやはり現場です。授業外の学修としても積極的に現地を見ることを勧めています。



## 古本 泰之

Yasuyuki Furumoto

杏林大学

外国语学部 准教授  
専門分野：観光地域開発

井の頭キャンパスに移転しても、拠点はやっぱり八王子。カメラが趣味なので、休日は近所の浅川の四季を撮影。でも、頭の中には「これって観光コンテンツになるかも」だったりして。

## だいじょうぶ! 八王子は君を受け止めてくれる。

杏林大学が現在の井の頭キャンパスに移ってきたのが2016年。八王子を内側からも外側からも眺められるユニークなポジションから見た、八王子の面白さをあらためてうかがいました。

### やってることは責任あるコンサルティング

人ととの交流で街を賑やかにしようというテーマを掲げているこのゼミにとって、コンソはまたとない教材です。2018年はMICEの誘致に取組む指定課題部門に応募し、「海外から見た八王子の魅力」という研究テーマが採択されました。これまでアトレヴィ三鷹で商品を販売するとか、地元商店街のイベントに参加するとか、学外でのプロジェクトをやってきました。けれどもコンソの活動は緊張感の質が違いますね。どうしてかというと、きち

んと予算をいただいて遂行するプロジェクトだからです。つまり、お金を出す顧客に対して、締め切り内に一定の成果物を提出しなくてはいけない。綿密なリサーチはもちろん、中間報告も必要だし、会計も進行管理もきちんとやらなくてはいけない。もちろん大学のゼミのレベルではありますが、コンサルタントとやっていることは大きく変わりません。

### 本だけでもなく、行動だけでもない “ガッツリ系”ゼミとして

「先生、やっぱり電話しなきゃダメでしょうか?」なんて、最初は相談されました。SNS世代は仲間以外の人と直接話すことになれてませんからね。でも、観光を考える上で現場に出向くのは必須です。企業や商店やいろいろな団体の人々にアポイントを取って会



大学コンソーシアム八王子の事業にも積極的に参加しています。

ということ。チャネルを変えれば成功につながるのだとわかり、学生たちもしぶとくなりました。一つのプロジェクトに3、4年の2学年通じて取り組んでいることもあり、このゼミは机で勉強しながら現場にも出る“ガッツリ系”ゼミになっています。でも、社会に出て行く際の武器を一つ渡すことができると確信しています。

### 許容力が高い町

井の頭キャンパスに移転してからも、こうした学外の活動をする際、古巣の八王子は本当にいい環境だと思います。やっぱり大学がたくさんあるので、地域の人々が大学生に慣れている。過剰な期待ではなく、無理のない範囲で学生とつながりを築いてくれます。学生たちも週末はデートで高尾山に遊びに行ったり、顔見知りの商店街のみなさんと時々挨拶したりしているようです。八王子って学生をしっかりと受け止めてくれる、懐が深い町だと改めて実感しています。

### △ 学生のコメント

#### 人脈と行動力を今後に生かして

秋山遙さん  
【外国语学部観光交流文化学科4年】  
(2020年3月卒業)

八王子に関する知識が0からのスタートだったため、実際に足を運ぶことで気づく点が多くかったです。何より八王子の方々の協力があったからこそ実現できた活動でした。活動を通して形成された人脈とめげない行動力は今後に生きると思っています。

**Q** 大学はどのように選ぶとよいですか。  
風間航太さん【富士森高校 3年】

**A** 自分がハマりそうな分野は何かを自分に問い合わせ続けることが大事です。時間を忘れるほど夢中で学べる分野なんて多くはないはずなので、自ずから大学も絞られてくると思います。



## 吉田 亘

Wataru Yoshida

東京工科大学

応用生物学部 応用生物学科 講師  
博士(工学)  
専門分野：核酸工学、遺伝子工学、エピジェネティクス

内外の学術誌から、分析化学(バイオ)分野で活躍する日本の若手研究者として紹介されている吉田先生。大学のお気に入りの場所は片柳研究タワー15階から眺める富士山。そこに最先端の研究イメージを重ねている? 休日はもっぱら子育て。大好きなサッカーも最近は見るだけとか。



専門的な機器を使用し、最先端の研究を行っています。



## 齋藤 元気

Genki Saito

東京都立大学  
ボランティアセンター  
ボランティアコーディネーター

指導する立場ではなく、学生と対等な関係で協働する。それがコーディネーターの仕事だという齋藤さん。明星大学在学時代からボランティア活動を継続てきて、高校生の皆さんに伝えたいことは「大学生の期間だからこそ、自分のやってみたいことにとことん挑戦できます」。



★学生天国★での水鉄砲を使用した活動紹介  
※★学生天国★は八王子学生会とコンソが共催して行う、25の大学等が集う合同園遊会です。毎年5月に八王子を代表する歩行者専用の貨物公園通りユーロードで開催しています。

## 社会に触ることで、自分の知らない自分に気づく。 それが進歩のあかしです。

水鉄砲を使って日頃の活動を紹介。なんだか楽しそうだけど、ボランティア活動で大学を選ぶのもアリ? そんな期待をまじえつつお話をうかがいました。

まもなく東京オリパラが始まりますが、そのようなボランティアをやりたくて集まる学生はいますか?

東京2020オリパラや東京マラソンなど、東京都で開催される大きなイベントに興味をもって相談にやってくる学生もたくさんいます。でも、話を聞いてみると、本当は環境問題に关心があつたり、子どもともふれあうのが好きだったりして、結果的にまったく違う活動に挑戦する学生もいますね。

初めてボランティアをやりたい人にとっては、始めやすい? そうですね。ボランティアセンターには専任コーディネーターが2名いるほか、学生の立場からボランティ

ア活動の普及・啓発に取り組む学生コーディネーターが12名います。これからボランティア活動を始める学生も相談等を通して、どんな活動が自分に合っているのかを考えることができます。

純粋な課外活動なのに、どうしてみんな頑張れるのでしょうか?

高校生の頃からボランティア活動を意識して入学してくれる学生もけっこういますよ。福祉や環境といった専攻する学問についての学びを、ボランティア活動を通して社会で実践している学生も多くいます。本人の思いや関心、疑問などが活動を始めるきっかけになっていることが多いですね。

どんなときに学生の成長を実感しますか?

都立大独自のボランティアプログラムでは、活動と連動した事前・事後学習を行っています。そこでのアン

### △ 学生のコメント

#### きっかけはボランティアセンター

神保彩乃さん  
【都市教養学部 経営学系 卒業生】  
「やる気になった時の道しるべ」

高3のときにボランティアに興味を持つたのですが、どうすればいいのかイメージができませんでした。幸い大学に入学した年にボランティアセンターが開設され、道しるべになってくれました。

石川陸矢さん  
【都市教養学部 物理学コース 4年】  
「社会とつながる扉を開く」

大学1年生のときに友人に誘われ、松木日向緑地プログラムに参加しました。継続して参加していく中で、里山や地域の社会課題が見えてくるようになりました。みんなとアイデアを出しながら協力して企画を形にしていくことが面白いです。



現役高校生の質問 / 大学生のボランティア活動の特徴を教えてください。

谷 友里さん【富士森高校 3年】(左)  
藤野隼一さん【富士森高校 2年】(右)

**A** 大学には日本全国、そして世界中から学生が集まります。様々な価値観の中で、自分と社会の距離を近づけることができます。



## 人生、いつだって プレゼンテーションでしょ。

居並ぶ素人陣を前にして、科学の最先端をドキドキワクワクな発表に変身させ、ハートをわしづかみに。ここ数年、学生発表会の常連となっている吉田ゼミ。いったい、研究室では何が起こっているのでしょうか?

### 早い話が遺伝子のスイッチ

私たちの細胞の中には同じDNAがあります。つまりヒトの設計図はどの細胞にもある。でも、脳になつたり、心臓になつたりするのはどうしてか。それは遺伝子にスイッチみたいなものがあって、それがオンになつたりオフになつたりすることで、人体のパートは必要なところでしか作られません。このスイッチを調べていけば癌かどうかわかるし、スイッチを正常に戻すことで薬の役目も果たしてくれる。そんな研究をやっています。

### どんなに素晴らしい研究も、伝わらなければ評価されない

この研究室が学生発表会に応募している理由は、「DNAって何ぞや?」みたいな聴衆もいる中で、研究成果をわかりやすく伝える絶好の機会だからです。もちろん学会発表や2週間ごとのゼミ発表はあります。そういった機会では専門用語がばんばん飛び交うわけですが、それとはまったく違うオーディエンスに訴えかける経験もすごく大切なんです。考へてみると、どんな時だってプレゼンテーションでしょ。就活だって、結婚だって、目の前の相手を納得させなきゃいけない。人は一人じゃ生きていけないから、必ず誰かと仕事をしていく。全部納得させる必要もないけど、自分のアイデアをきちんと理解してもらうスキルは絶対必要です。

### 初めに夢を語ろう

一般の人をワクワクさせるプレゼンテーションは、最初の導入で「これができたら、こんなすごいことが起こる」っていう、まさに最終ゴールを語ってしまうことです。たとえば「これは簡単な採血キットを使つた癌の検査です。これをスマホで撮影するだけで、癌かどうかがわかります」みたいな感じ。大学でいちばん成長するのは研究室です。でも、優れた研究者は、優れた語り部でなくてはいけない。そういう点からも、学生発表会は研究室の外にある貴重な学びの機会なんです。



### △ 学生のコメント

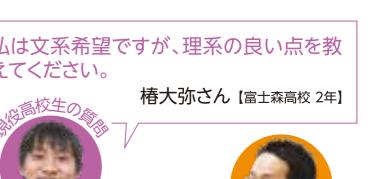
#### 学生発表会に出席してみて

高夏海さん  
【博士課程1年】  
「親にも説明できるようになりました」

「この専門用語、どうやってかみ碎いたら、わかつてもらえるかなあ」と、みんなで意見を出し合いながら発表を工夫していました。おかげで親にも何を研究しているかちょっとはわかつもらえたかなと思います。

川上万里子さん  
【応用生物学科4年】  
「人事の方にうなずいてもらいました」

就職活動では、このゼミの生の大半は生物系の企業に行かれていました。学生発表会での発表は、理系でない方にも研究をイメージしてもらうためのいい訓練になりました。



研究室に貼ってある先生のバースデーカード。ゼミのアットホームな雰囲気が伝わります。

**Q** 私は文系希望ですが、理系の良い点を教えてください。  
椿大弥さん【富士森高校 2年】

**A** 文系・理系にとらわれずに、自分のやりたいことができる学部・学科に進学するべきです。今はどの大学もオープンキャンパスで研究室などを公開しているので、ぜひ色々なキャンパスに遊びに行ってください。ちなみに私はなぜかDNAの二重らせん構造に惹かれてバイオ系の学部・学科に進学しました(笑)